

新規漁業就業相談会

漁師の仕事！まるごとイベント「漁業就業支援フェア」を仙台で開催

一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター(代表理事会長:小坂智規、東京都港区赤坂)は、漁業未経験者を対象とする漁師になるための就業相談会「漁業就業支援フェア」を仙台で開催します。参加費無料/事前の参加申し込み不要/履歴書不要/服装自由/入退場自由なフェアです。多くの方の来場をお待ちしています。

日本の漁師は、毎年約1万人減少しています。新規漁業就業者の安定的な確保・育成を目的に行うこの漁業就業支援フェア会場には、新人漁師受入れ意向を持つ漁協・漁業会社がブースを出展します。来場者は直接この出展団体ブース(出展団体数・ブース数は会場により異なります)を訪問し、個別に相談(面談)できます。個別相談(面談)の結果を基に、フェア終了後、出展団体の研修候補生に採用されるケースもあります。

その他、専門の相談員に漁業全般のわからないことや就業する上での不安・悩みなどを相談できる「総合相談ブース」、セミナー形式で漁業全般について紹介する「ガイダンスコーナー」などを設けます。漁師を目指す人には、まさに第一歩を踏み出すチャンスです。また、漁業に興味を持ち始めたばかりの人は、漁業全般のことや漁業種類の違い、仕事内容など、漁業就業に関する様々な情報を得ることができます。自身の立場や状況にあわせて、会場を自由に回り、情報収集できるフェアです。仙台に先駆け5,6月に東京・大阪・福岡で行ったフェアには、求職者や学生、家族連れなど延べ600人以上の非常に多くの方が来場されました。



開催地	開催日時	会場	出展団体数	募集人数
仙台	9月27日(土) 12:30から16:00 *最終入場15:30	イベントホール松栄 6階Aホール 仙台市宮城野区榴岡1-2-8	12団体	21名

*出展団体数・募集人数は変更になる場合があります。最新情報は順次「漁師.JP」で確認いただけます。

【参加概要】

◇参加方法:漁業に興味・関心を持つ方なら、どなたでも参加いただけます。

◇参加条件:未経験者・家族連れ歓迎/参加費無料/事前の参加申し込み不要(当日会場へ来場ください)/履歴書不要 /服装自由 /入退場自由

◇一般の方からのお問合せ先:一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター

電話 03-5545-1617 平日 10:00~17:00(土・日・祝日除く)

◇漁業就業に関する総合ウェブサイト「漁師.jp」 <http://ryoushi.jp>

◇主催:一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター

◇後援:水産庁



【漁業就支援フェア東京(6月14日実施)の様子】

■現役漁師から、漁師をめざす人へのメッセージ動画を公開

フェア開催に先立ち、現役漁師からのメッセージをメインコンテンツとするメッセージ動画「注目度 UP！漁師という仕事」を作成、公開(<http://www.youtube.com/user/ryoushichannel>)しました。漁業就業に関する総合 WEB サイト「漁師.JP」でもご覧になれます。



「注目度 UP！漁師という仕事」篇は、水産食品会社の営業職から、まき網漁船の乗組員に転職した現役漁師山本浩司さんへのインタビューや、漁の様子、水上げの様相など様々な静止画像を組み合わせたメッセージ動画です。転職のきっかけ、まき網漁業の仕事内容・醍醐味、漁師になるための心構え、漁師を目指す人へのメッセージなど5年間の漁師修行を通した山本さんの生の声は、漁師や漁業に興味のある人には大変参考になります。

■漁業就業に関する総合ウェブサイト「漁師.jp」

「漁師.jp」は、これから漁師を目指す人、水産業に就職したい人、漁業に興味のある人、転職を考えている人などの情報源として、様々なコンテンツを用意しています。

【コンテンツ内容】

「基礎知識」:はじめての人に向け漁師の仕事について Q&A 形式で簡単に紹介。

「情報を集めよう」:漁業種類の紹介をはじめ、新人漁師・研修生動画インタビューを掲載。

「参加する」:漁業就業セミナーやフェア情報を掲載。セミナーの参加申し込みも行っています。

「漁師募集中」:現在募集中の就業情報を掲載。都道府県別、漁業種類別に検索できます。



【漁師.jp トップ画面】

■他会場の開催概要

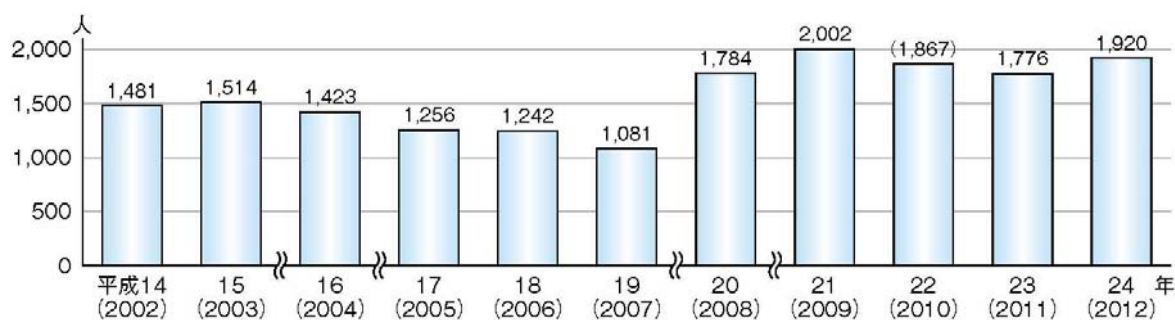
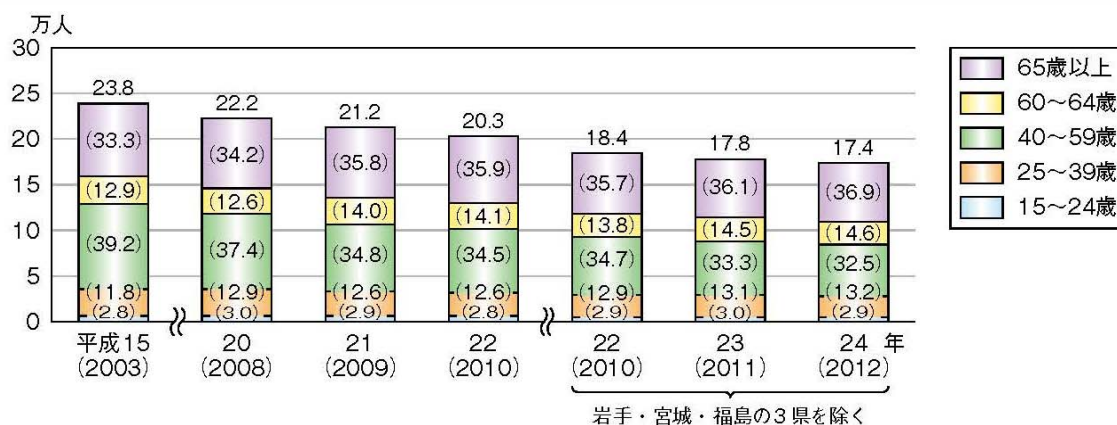
今年度の開催状況ならびに、来場者の状況は以下の通りです。

開催地	開催日時	会場	出展団体数	来場者
福岡	5月24日(土) 12:30 から 16:00 (最終入場 15:30、以下同)	エルガーラホール 大ホール 福岡市中央区天神1-4-2 8F	44 団体	105 人
大阪	6月7日(土) 12:30 から 16:00	OMMビル Aホール 大阪市中央区大手前1-7-31 2F	48 団体	205 人
東京	6月14日(土) 12:30 から 16:00	アキバ・スクエア 千代田区外神田4-14-1 秋葉原 UDX 2F	55 団体	336 人

■日本の漁業を持続的に発展させるためには、新規就業者の安定的な確保・育成と将来の担い手へ漁ろう技術の伝承が必要

平成15年に約24万人であった漁業就業者数は、平成24年には約17万人(岩手・宮城・福島の3県を除く)と毎年減少、また、高齢化率36.9%と高齢化も急速に進んでいます。一方、漁業とは無縁の世界から心機一転、漁師への転職を目指す若者も増えています。日本の漁業を持続的に発展させるためには新規就業者を安定的に確保・育成し、将来の担い手へ漁ろう技術を伝承することなどが重要です。

漁業就業者数の推移



資料：平成25年度水産白書

当資料に関する報道関係の方からのお問い合わせ先

一般社団法人全国漁業就業者確保育成センター 担当：今野(こんの) 電話：03-5545-1617
〒107-0052 東京都港区赤坂一丁目9番13号 三会堂ビル